

# 令和7年度 けやき台中学校 部活動運営方針

## 1 目的

- 礼儀正しく、仲間と協力して主体的に活動することで、人間性・社会性を高める。
- スポーツや文化活動を通して、丈夫な身体と健全な心を育てる。
- 学校のきまりをよく守り、困難に耐え抜く粘り強い心と積極的な態度を身に付ける。

## 2 部員として気を付けること

- ① 自分の荷物は、活動場所または部室など、顧問の先生に指示されたところに置く。
- ② 使用する運動着や個人の用具には、必ず記名する。
- ③ 各部で使用する部室・器具庫などは常にていねいに扱い、整理整頓に心掛け、きれいにしておく。
- ④ 部員同士絶えず助け合い、豊かな交友関係を育てる。
- ⑤ 練習中、事故を起こさないように十分注意する。準備運動は必ず行う。
- ⑥ 部員は、率先して学校のきまりを守る。完全下校時刻を守って全員下校する。
- ⑦ 登下校の際は、正しい自転車の乗り方やヘルメットの着用などのきまりを守る。

## 3 活動時間（準備、片付け、審判、休憩などを除いた純粋な競技の活動時間という解釈）

- 平日 時期によって、異なる。50分2コマ（主に月、水、金）、50分1コマ（主に火）、2時間程度（主に長期休暇）の3パターンを適用する。

【部活動完全下校時刻】

シーズン		5時間	6時間
スタンダード【2月～10月】		16:50	
チャレンジ 【総体 or 新人大会の 3週間前～】	サマー	17:10	18:00
	オータム	9/1～市新人2日目	
		17:10	17:50
		市新人～9/30	
		17:10	17:40
		10/1～県南新人	
		17:10	17:20
	県南新人～県新人		
17:00	17:00		
オフ【11月～1月】		16:40	活動なし
夏休み		16:40	
冬休み		16:15	
春休み		16:40	

※朝練は原則として行わない。

### ○ スタンダードシーズンの土日・祝日の活動

- ・休業日(学期中の土曜日・日曜日を含む)は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的効果的な活動を行うこと。
- ・原則として土日のいずれかを休日とすること。また、1週間に2日間休養日を設けること。

### ○ チャレンジシーズンの考え方

- ・但し、総合体育大会や新人体育大会前は必要に応じて3週間前から土日両方の活動が行える。その際、平日に休養日を確保すること。
- ・部活動終了後、部員が帰宅する時間を見計らって顧問は帰宅すること。
- ・生徒の集合時間は顧問が学校にいられる時間で設定すること。
- ・休日のみ自転車通学を全員許可すること。その際、年度初めに「自転車通学許可願い」を顧問に提出すること。

## 4 テスト前の休日について

- ・3日前から停止

## 5 服装について

- ・登下校については、平日は学校指定のジャージ・Tシャツ・クォーターパンツ・部でそろえたウインドブレーカー等を着用する。(土、日、祝日はチームでそろえたTシャツ等での登下校を認める。)
- ・活動中は学校指定のジャージ以外に、各競技に適した服装(チームTシャツ・ユニフォーム等)での活動を認める。 ※顧問と相談してから購入する。

## 6 休部・退部・部活動継続願について

- ・特別な理由がなく1ヶ月以上部活動に参加できない場合、顧問から休部届をもらい、提出すること。  
(※休部中の部活動の成績は、表彰の記録に記載しない)
- ・部活動加入の全生徒は、年度初めに部活動継続願を顧問からもらい、提出すること。  
(※継続の意思がない場合、退部届を顧問に提出すること)

## 7 夏季における活動の留意点

- 生徒の生活や健康に留意するとともに、熱中症事故の防止等の安全確保を徹底するため、「熱中症予防運動方針」(公益財団法人日本スポーツ協会)等を参考に、運動部活動の実施について適切に判断する。  
また、気象庁の高温注意報及び環境省熱中症予防情報サイト上の暑さ指数等の情報に十分留意し、気温・湿度などの環境条件に配慮した活動を実施する。その際、屋内外に関わらず、活動の中止や延期、見直し等柔軟な対応を検討する。

**原則、「熱中症警戒アラート発表時」や「暑さ指数(WBGT)」が31以上の場合、活動を行わない。**

具体的な対応として、高温時やその際の留意点は以下の通りとする。

### ①「熱中症警戒アラート発表」の場合

→活動無し

### ②「高温時」(WBGT)暑さ指数が高くなると予想される場合

- ・中止にするか、準備・片付けを含め2時間以内とする。
- ・外活動の場合・・・午前は10時まで、午後は4時からとする。
- ・必ず常に顧問がついて指導に当たる。

### ③「留意点」

- ・活動前に必ず顧問が健康観察をする。
- ・十分な給水と休憩を入れながら活動する。
- ・日陰がない所は、テントを常設する。
- ・常に保健室を冷房し、経口補水液を準備する。

- 高温や多湿時において、主催する学校体育大会が予定されている場合や練習試合、練習については、大会の延期や見直し、練習試合、活動の中止等、柔軟な対応を行う。

また、止むをえない事情により開催する場合には、参加生徒の体調の確認(睡眠や朝食の摂取状況)、こまめな水分・塩分の補給や休憩の取得、観戦者の軽装や着帽等、生徒の健康管理を徹底する。万が一、熱中症の疑いのある症状が見られた場合には、早期の水分・塩分の補給や体温の冷却、病院への搬送等、迅速かつ適切な対応を徹底する。